

市民クラブ 会報

2019年 新春号



市民クラブ会長 挨拶



市民クラブを代表して、日頃の活動へのご理解ご協力に感謝申し上げます。
 私たち市民クラブは、希望あふれる浜松市の未来に向けて、市域全体を見据えた生活の安全・安心と活力ある発展をめざし、市民目線で活動しています。右肩上がりの経済成長が難しい環境の中、本市においても人口減少や少子高齢化の影響、高度成長時代に整備したインフラの老朽化対策や、頻発する自然災害への対応など、本市が抱える課題は山積しており、それらの対応が的確になされなければ本市の持続的な発展は望めません。
 私たちは、限られた財源の中でこれらの課題に対応するために、行財政改革による効率的な市政運営を求めています。また、納めて頂いた税金の使い道を考えるだけでなく、様々な手法で自主財源を

確保することが必要と考えて施策提案をしています。これからも現場に足を運び、自分の目で確かめ、声を聴き、本市の未来を共有したうえで、スピード感を持って活動してまいります。

2019年はラグビーW杯の日本代表やスコットランド代表の事前キャンプ地に選定されていることや、NHK大河ドラマ「いだてん」後半の主人公に本市出身の水泳ニッポンの父、田畑政治氏が取り上げられるなど、本市にとって明るいニュースが多く、本市の活性化に向けたチャンスの年と捉え、この機会を最大限生かしてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

新年明けまして
おめでとうございます。皆さま
には、健やかに新年をお過ごし
のこととお慶び申し上げます。

さて、本市は現在、「政令指定都市幸福度
ランキング 総合第一位」、3期連続となる「健康寿命
政令指定都市第一位」という評価をいただいております。

これらは、本市が、地方自治体としての基本的ポテンシャルの高さはもとより、市民の皆さまが健全で豊かな生活を送ることができる、最高の「プラットフォーム」としての評価を得たものであると言えます。

現在、我が国の住民生活に身近な行政サービスの多くは、地方自治体が支えており、今後人口減少が進み、我が国を取り巻く環境に不確定さが増す中でも、地方自治体が、安定して、持続可能な形で、行政サービスを提供し続けることは、住民が健康で安心して生活を送るために必要です。

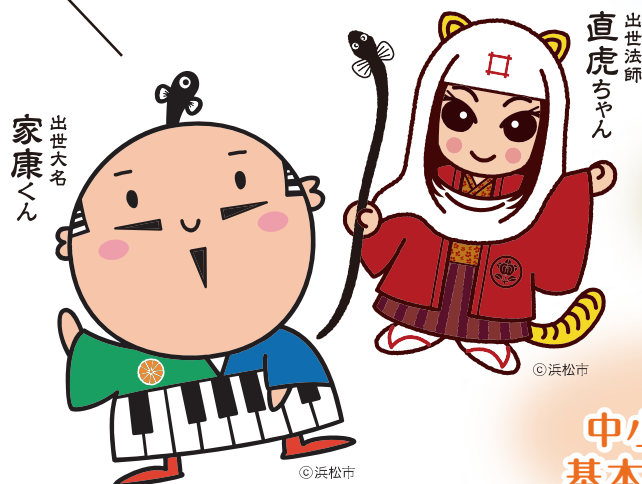
改元に伴い、我が国の新たな時代がスタートする今こそ、フロントランナーとしての覚悟と気概を持ってオール浜松でチャレンジを積み重ね、揺るぎない未来の実現を目指してまいりたいと考えております。

本年も市民の皆さまが安心して暮らせる豊かな地域社会を目指し、市民クラブの議員の皆さまと共に市勢の発展に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

浜松市長 ご挨拶



こんな提言を
してきたのじゃ！



大規模停電時の
学校対応
マニュアルの作成

江ノ島地区
ビーチスポーツ
施設整備



防災教育・
災害活動
拠点施設の整備
(浜松市防災学習センター)



公共施設の
ネーミングライツ
導入促進
(浜北平口スポーツ施設サーラグループ)



はままつ
アスリート
フェスティバル
の開催

浜松市
中小企業振興
基本条例の制定



会長

ひらま よしあき
平間 良明

中区
期数:2期

- 市民文教委員会(委員長)
- 危機管理特別委員会
- 大型スポーツ施設調査特別委員会

幹事長

きたのや ふくこ
北野谷 富子

浜北区
期数:1期

- 市民文教委員会
- 地方創生調査特別委員会(副委員長)

まるい みちはる
丸井 通晴

南区
期数:8期

- 総務委員会
- 地方創生調査特別委員会

さいとう はるあき
斉藤 晴明

中区
期数:6期

- 環境経済委員会
- 新病院・新清掃工場建設調査特別委員会

とくみつ たくや
徳光 卓也

西区
期数:2期

- 厚生保健委員会
- 行財政改革・大都市制度調査特別委員会
- 大型スポーツ施設調査特別委員会

すずき ゆきこ
鈴木 唯記子

中区
期数:1期

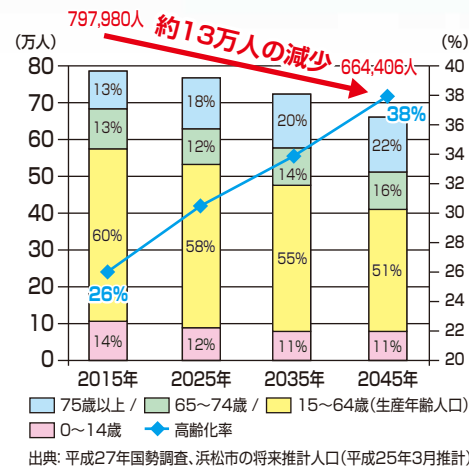
- 議会運営委員会
- 建設消防委員会
- 行財政改革・大都市制度調査特別委員会

浜松市行政区再編

区の再編については、浜松市議会の行財政改革・大都市制度調査特別委員会で4年間議論を重ねてきました。私たち市民クラブは「区の再編をするべき」との立場でこの議論に臨んで参りました。

Q なぜ、区の再編を しなくてはいけないの？

浜松市は、現在80万人の人口を有していますが、30年後には人口が約13万人減少し、生産年齢人口(15～64歳)が約3割減(48万人→34万人)、そして5人に2人が高齢者になると予測されています。つまり、税収が減少し社会保障費の増大が見込まれるのです。「困ったときに行えばいい」では遅いのです。区の再編を行うことで、本市の行財政改革が一歩前に進むと考えています。



現状の課題と再編後の課題解決イメージ

福祉・保健・土木の分野では課題(右図)が解消されることにより、サービスの向上が見込まれます。このような市の出先機関全体の最適化を、組織の肥大化なしに行うためには、区の再編の中で実施することが最善と考えています。

	現状・課題	行政区再編後
福祉	7つの区役所(福祉事務所)と本庁の体制。事務処理における区間の相違。	7つの福祉事務所を本庁の組織とし、命令系統が一元化することで、均質な福祉サービスを提供。
保健	専門職である保健師が7つの区役所に分散しており、専門性を効果的に発揮できない。	保健師の本庁への集約配置により、母子保健中心から、子供から高齢者まで全方位型のサービスを提供。
土木	地域からの要望や災害への対応が土木整備事務所と区役所で2系統に分かれている。	土木整備事務所を区役所に併設することで、緊密な連絡体制により対応力を強化。

Q なぜ、 新3区案なの？

市は、これまで2通りの2区案と3区案をたたき台にしていた。しかし、7～8月に行った自治会連合会などへの説明会にて、区自治会連合会等からの要望を受けとめ、新3区案を示しました。新3区案の経費削減効果は年間約7億円と試算しています。

- 年間削減効果額約7億円
- A区については区役所が5→1に減りますが、【仮称】行政センター、協働センター、市民サービスセンターなどで対応ができるため、サービスは低下しません。

詳しくはこちらをご覧ください。



	A区	B区	C区
区	中 東 西 南 北	浜北	天竜
人口	671,788	95,900	30,292
面積	548km ²	67km ²	944km ²

Pickup 浜松市で初めて住民投票が実施されます！



住民投票用紙のイメージ

目的 区の再編について住民の意思を明らかにし、市政の民主的かつ健全な運営に寄与することを目的として住民投票を実施するため。

(1) 新3区案での区再編を2021年1月1日までにすること(2) 区の再編を同年までに行うこと一の2問。(2)は、(1)に反対した人のみ回答し、賛成した人は回答すると無効になってしまいます。投票率が50%に達しない場合、住民投票は不成立で開票しません。

住民投票は今年4月7日に市長選、市議選、県議選と同時に実施されます。

代表・一般質問

市民クラブのメンバーが、市議会本会議で質問しました。

Pickup

人口10万人あたりの人身交通事故件数ワーストワン脱却を!

平間 良明 議員

5月議会 代表質問

- 新たな行政区、行政サービス提供体制(案)について
- 福祉関係部署に専門的知識と援助技術(手話通訳など)を有する正規職員の配置を
- 四ツ池公園陸上競技場及び周辺のユニバーサルデザイン化について

Pickup

放課後児童会の充実を

斉藤 晴明 議員

5月議会 一般質問

- 中学校部活動指導に当たる外部人材の確保を
- 小学校の外国語教育拡大に向けた対応について
- ユニバーサルデザイン化について
- 市内事業所の大部分を占める中小企業に対し、浜松市中小企業振興基本条例の制定を

Pickup

より良い教育の為に教職員の負担軽減を

北野谷 富子 議員

9月議会 代表質問

- 西日本豪雨を受けた本市の安全対策について
- 教職員に係る権限及び税財源の移譲により可能となった特色ある教育について
- 登下校中の児童生徒の安全確保は、交通安全、防災、防犯の観点から対策を

Pickup

切れ目のない子育て支援! 多子世帯の負担軽減を

鈴木 唯記子 議員

9月議会 一般質問

- ビーチスポーツの聖地としての拠点づくりについて
- 高校生への医療費助成実施の方向性について
- 発達支援教育とスポーツに対する支援策について
- 動物愛護教育センターのいのちの教育事業について

Pickup

市中心部に昔のにぎわいを

丸井 通晴 議員

11月議会 代表質問

- 他都市に負けない賑わいのある中心市街地の活性化を
- 台風24号による大規模停電を教訓とした対策を
- 日本語がわからない多国籍の児童生徒が今以上に増える学校現場の対応について

Pickup

ラグビーW杯事前合宿や各国サポーターの対応を

徳光 卓也 議員

2月議会 一般質問

2019年3月4日 13:00～登壇予定

- 若者人口流出対策について
- 中山間地の行政サービス向上対策について
- 防災教育を充実させるための対策について(質問項目はいずれも仮)

平成31年度 市政運営に対する 政策提言



私たち市民クラブは、市が示した「浜松市平成31年度予算の編成方針」並びに「浜松市戦略計画2019の基本方針」を受けて、平成31年度の市政運営に対する政策提言を行いました。

未来の本市を見据えたうえでの重点提言

- 新たな行政区、行政サービス提供体制の推進にあたり、自治会連合会の要望等を踏まえ、2020年1月1日の新体制移行を確実に実施すること。また、市民の安心につながる情報発信を積極的に行うこと。
- 篠原地区への野球場整備促進と、ラグビーワールドカップ2019及び、2020東京オリンピック・パラリンピックで高まるスポーツ振興の機運を受け、四ツ池公園陸上競技場の第1種陸上競技場整備をはじめ、スポーツ施設の充実やUD対応などの環境整備を促進し、スポーツ文化都市浜松を築くこと。
- 平成31年度策定予定の「新たな文化振興ビジョン」では、浜松城公園東側の賑わい交流ゾーンを候補地とした「浜松市市民文化創造拠点施設基本構想」と、平成26年に策定した「浜松城公園長期整備構想」との整合性が求められるため担当部局だけでなく全庁的な推進とすること。また、本庁舎移転や新美術館構想などの関連する事業の方向性を示すこと。

災害対応への緊急提言

- 大きくなり過ぎて電線に接触している街路樹の植替えや、電線の地中化促進により停電発生を予防すること。
- 電気自動車の普及を見据え、市役所や区役所など、非常電源が整備された施設に充電ステーションの設置を促進すること。
- 停電被害に対する市民の自助努力を促すため、発電機や蓄電池、電気自動車から家に電気を供給できるV2H設備の普及促進をはかること。



その他の政策提言

- 若者がチャレンジできるまち
- 子育て世代を全力で応援するまち
- 持続可能で創造性あふれるまち

提言内容について、詳しくはこちらをご覧ください。

